2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月7日

上場会社名 マークラインズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3901 URL <https://www.marklines.com>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 酒井 誠
 問合せ先責任者（役職名） 財務経理部長（氏名） 釜澤 英紀 (TEL) 03-4241-3901
 半期報告書提出予定日 2025年8月7日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	2,929	5.2	1,071	△3.7	1,081	△3.4	751	△4.6
2024年12月期中間期	2,785	16.2	1,113	14.5	1,119	15.1	788	17.3

(注) 包括利益 2025年12月期中間期 712百万円(△17.1%) 2024年12月期中間期 860百万円(15.2%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	56.84	—
2024年12月期中間期	59.64	59.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	9,031	6,739	74.1
2024年12月期	8,753	6,617	75.6

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 6,696百万円 2024年12月期 6,617百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	48.00	48.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	52.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	16.9	2,450	10.6	2,450	10.0	1,710	8.4	129.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社マークラインズソフト開発、除外 1社(社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年12月期中間期	13,228,800株	2024年12月期	13,228,800株
2025年12月期中間期	480株	2024年12月期	478株
2025年12月期中間期	13,228,321株	2024年12月期中間期	13,215,988株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P6「(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 中間連結貸借対照表	7
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	9
中間連結損益計算書	9
中間連結包括利益計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは当中間連結会計期間(2025年1月1日から2025年6月30日まで)において成長戦略に挙げたテーマに取り組んで参りました。

情報プラットフォーム事業については、当期からこれまでの契約社数増に重点をおいた活動から顧客あたりの売上高向上を推進する方針へと転換しました。これに伴い、営業部の組織変更を実施し新規/既存顧客からグローバル/複数社契約を獲得する活動を推進しました。また、インド子会社及び前期に設立した深圳子会社の営業人員の採用を進め現地におけるローカル企業の契約獲得を推進するための人員増を図りました。コンテンツ面においては、販売台数カスタマイズ集計機能を新たに実装し、メーカー、モデル、パワートレインなどの項目をユーザーが自由に選択できるようにすることで台数データを様々な切り口で集計可能にするとともに、これまで蓄積してきた一次情報についてコンテンツ間で系統的に連携させることで関連情報を一度に閲覧できるようにするなどユーザーエクスペリエンスの向上を図りました。また、BYDを筆頭に躍進著しい中国メーカーの情報をさらに強化するため中国市場に関するコンテンツを増強しました。さらに、トランプ政権による関税引き上げが自動車産業に大きな影響を与えるとの懸念から、メディアからの問い合わせが増加しテレビ・新聞といった媒体を通じて当社名がクレジットされ認知度向上に寄与しました。以上の結果、売上高、セグメント利益ともに前年同期比で増加しました。

情報プラットフォーム事業以外の事業について、市場予測情報販売事業は、販売本数が前年同期比で増加し、さらに、平均販売単価も上昇した結果、売上高、セグメント利益ともに増加しました。プロモーション広告事業は、引き続きリピート受注が好調に推移し、売上高、セグメント利益ともに増加しました。分解調査データ販売事業は、売上高は増加しましたが、固定費増加の影響を受けセグメント利益は減少しました。車両・部品調達代行事業は、売上高、セグメント利益ともに1桁台の増加にとどまりました。コンサルティング事業は、自動車/大手部品メーカーから付加価値の高い案件発注が増加傾向にあり平均受注単価は向上しましたが、受注件数が前年同期比減となり売上高も減少しました。自動車ファンド事業は、関連会社である「自動車産業支援ファンド2021投資事業有限責任組合」から毎期定額で受領する管理報酬を売上として計上しているため、売上高はほぼ横ばいで推移しました。車両分解・計測事業は、前年同期で計上したような大型の計測案件が当期は計上されず売上高は前年同期比で大きく減少しました。人材紹介事業は、引き続き低調に推移しセグメント利益は前年同期比で減少しました。

自動車産業界においては、BYDを筆頭に中国の自動車メーカーによる攻勢を受け日系・欧米メーカーが苦戦を強いられていることに加え、最大市場である中国では過度な値引き競争が起こるなど業績全体の利益水準が低下傾向にあります。さらに、トランプ政権の関税政策により産業界の先行きに対する不確実性が急速に高まったことで多くの自動車/部品メーカーで経費削減や予算執行を延期したり停止する動きが加速しており、この影響から当社グループ全体の業績についても、足元では、市場予測情報販売、プロモーション広告事業を除くすべての事業で受注低迷やサービス解約が増加するなど厳しい状況になっております。この結果、売上高は2,929百万円(前年同期比5.2%増加)、また、営業利益については、前年下期に設立したベンチマークセンター、深圳子会社、及び福岡コールセンターに係る固定費増の影響も受け1,071百万円(前年同期比3.7%減少)、経常利益は、持分法による投資損失10百万円を計上したものの受取利息及び受取配当金等を計上したことから1,081百万円(前年同期比3.4%減少)、親会社株主に帰属する中間純利益は、751百万円(前年同期比4.6%減少)となりました。

通期の業績予想に対する進捗については、売上高で45.1%、営業利益、経常利益では、それぞれ43.8%及び44.1%、親会社株主に帰属する中間純利益については44.0%となっております。

また、四半期ごとの業績については以下のとおり推移しました。

○ 四半期毎の連結業績の推移

		前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) (百万円)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日) (百万円)	増減率 (%)
第1四半期連結会計期間	売上高	1,589	1,587	△0.1
	営業利益	644	590	△8.4
第2四半期連結会計期間	売上高	1,196	1,342	+12.2
	営業利益	469	481	+2.6
中間連結会計期間	売上高	2,785	2,929	+5.2
	営業利益	1,113	1,071	△3.7

○ 第1四半期連結会計期間

第1四半期連結会計期間は、前年同四半期において車両分解・計測事業で一過性の売上が計上されるなど前年同四半期の業績が特に好調だった反動を受けたこと、深圳子会社及び福岡コールセンターの体制整備に時間を要していること、さらにBYDなど新興メーカーの台頭が一部の自動車/部品メーカーの業績悪化を招き当社サービスへの受注動向に影響を与えたことにより売上高は前年同四半期に及びませんでした。また、利益面においては、2024年下期に設立したベンチマークセンター、深圳子会社、及び福岡コールセンターに係る固定費増の影響も受け対前年同四半期で8.4%の減少となりました。

○ 第2四半期連結会計期間

第2四半期連結会計期間は、米国の関税政策に係る影響が見通せないことから多くの自動車/部品メーカーが予算執行を差し控えており、当社の市場予測情報販売、プロモーション広告事業を除く各サービスの受注動向に影響を与えました。ただ、前述のとおり市場予測情報販売、及びプロモーション広告事業が引き続き好調に推移したこと、及びコンサルティング、車両分解・計測、分解調査データ販売事業における受注が対前年同四半期で改善したことなどから売上高、営業利益ともに増加しました。

各セグメントの経営成績は以下の通りであります。なお、前第3四半期連結会計期間において完成したベンチマークセンターの稼働に伴い、これまで部門共通費として集計していた全社費用の配賦方法を見直し、前第3四半期連結会計期間より各事業の実態に応じて合理的に配賦する方法に変更しております。当中間連結会計期間の比較・分析は、変更後の測定方法の数値に基づいて実施しております。

○ 事業セグメント別損益(連結ベース)

		前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) (百万円)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日) (百万円)	増減率 (%)
情報プラットフォーム事業	売上高	1,772	1,884	+6.3
	セグメント利益	886	905	+2.2
市場予測情報販売事業	売上高	157	187	+18.8
	セグメント利益	46	59	+27.2
プロモーション広告事業	売上高	55	68	+23.3
	セグメント利益	44	53	+21.0
分解調査データ販売事業	売上高	94	97	+4.0
	セグメント利益	38	33	△11.5
車両・部品調達代行事業	売上高	234	253	+7.9
	セグメント利益	22	24	+9.2
コンサルティング事業	売上高	314	305	△2.9
	セグメント利益	49	10	△78.6
自動車ファンド事業	売上高	19	19	△0.3
	セグメント利益	0	8	+852.9
車両分解・計測事業	売上高	93	63	△32.1
	セグメント利益 又は損失	32	△9	-
人材紹介事業	売上高	43	49	+14.9
	セグメント損失	△7	△11	-
その他	売上高	-	-	-
	セグメント損失	-	△3	-
売上高 計		2,785	2,929	+5.2
セグメント利益 計		1,113	1,071	△3.7

- 情報プラットフォーム事業：売上高1,884百万円(前年同期比6.3%増加)、セグメント利益(営業利益)905百万円(前年同期比2.2%増加)

当中間連結会計期間における情報プラットフォーム事業は、人民元安の影響から中国の売上高は前年同期比で減少しておりますが、全体として売上高は前期における契約純増の効果により6.3%の増加となりました。全般的に日系・欧米メーカーの業績不振、及び業界内における不確実性の高まりを受け新規契約/解約に影響が出ている状況ですが、足元ではインド、北米地域は比較的好調に推移しています。

○ 情報プラットフォーム事業地域別売上高

地域	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) (百万円)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日) (百万円)	増減率(%)
日本	675	688	+1.8
中国	327	308	△5.8
アジア	315	356	+13.0
北米	239	289	+20.5
欧州	202	225	+11.4
その他	11	16	+40.6
合計	1,772	1,884	+6.3

- 市場予測情報販売事業：売上高187百万円（前年同期比18.8%増加）、セグメント利益（営業利益）59百万円（前年同期比27.2%増加）
 当中間連結会計期間の市場予測情報販売事業は、BYDなど中国メーカーの躍進により自動車産業界の勢力図が大きく変わる可能性があることに加え、米国と各国との関税をめぐる交渉が長期化する懸念から先行き不透明感がさらに高まる結果となり、台数予測情報に対する需要も引き続き高水準で推移しました。その結果、当該サービスにおいては高価格帯製品の販売が好調だったほか、値上げの効果も相まって平均販売価格が上昇し、売上高、セグメント利益ともに前年同期比で増加しました。
- プロモーション広告事業：売上高68百万円（前年同期比23.3%増加）、セグメント利益（営業利益）53百万円（前年同期比21.0%増加）
 当中間連結会計期間のプロモーション広告事業は、リピート顧客からの受注が安定的に推移したこと、及び案件当たりの受注額が上昇したことにより好調に推移しました。さらに、当第2四半期連結会計期間におけるPRメール配信数の増加も手伝って売上高、セグメント利益ともに前年同期比2割超の増加となりました。
- 分解調査データ販売事業：売上高97百万円（前年同期比4.0%増加）、セグメント利益（営業利益）33百万円（前年同期比11.5%減少）
 当中間連結会計期間における分解調査データ販売事業について、第1四半期は一定数の販売を見込んでいたTesla CYBERTRUCKの分析レポートが想定を下回るなど売上高は前年同四半期割れとなりましたが、第2四半期は提携先であるFEV社製のレポート販売などが貢献し上半期は前年同期比で4.0%の増加となりました。一方で、セグメント利益は固定費が増加したことに伴い減少しました。
- 車両・部品調達代行業業：売上高253百万円（前年同期比7.9%増加）、セグメント利益（営業利益）24百万円（前年同期比9.2%増加）
 当中間連結会計期間における車両・部品調達代行業業は、車両本体など単価が高い反面、利益率の低い調達案件が増加しました。その結果、売上高は7.9%増になり、一方で固定費がほぼ横ばいだったことから、セグメント利益については9.2%の増加となりました。
- コンサルティング事業：売上高305百万円（前年同期比2.9%減少）、セグメント利益（営業利益）10百万円（前年同期比78.6%減少）
 当中間連結会計期間のコンサルティング事業については、前期の第1四半期の業績が特に好調だった反動を受けたこと、及び自動車/部品メーカーが予算執行を差し控えていることなどが業績に影響を与えています。しかしながら、今期は自動車メーカー向けの技術展示会を開催するなど当該事業の認知活動を推進したことにより当第2四半期連結会計期間の検収件数は前年同四半期を上回り売上高はおよそ7割増となるなど業績が改善しました。これに伴い売上高は前年同期比2.9%の減少まで回復しました。セグメント利益については、利益率の低い案件が増加したこと、及びベンチマークセンターに係る固定費が増加した影響から大きく減少しました。
- 自動車ファンド事業：売上高19百万円（前年同期比0.3%減少）、セグメント利益（営業利益）8百万円（前年同期比852.9%増加）
 当中間連結会計期間の自動車ファンド事業は、体制に大きな変更がなかったため売上高は横ばいで推移しました。セグメント利益については固定費の減少を受け増加しました。
- 車両分解・計測事業：売上高63百万円（前年同期比32.1%減少）、セグメント損失（営業損失）9百万円（前年同期比―）
 当中間連結会計期間の車両分解・計測事業は、前期8月のベンチマークセンター稼働以降、積極的に認知活動を行った結果、多彩な案件の引き合いが届くようになり新規で商用車メーカーから請負い案件を受託するなど徐々に成果も上がっています。しかしながら、対前年同期では前期に計上した請負い案件が1億円と高額であったこと、及び業界全体に不透明感が広がり自動車/部品メーカーが一時的に外注費を圧縮していることなどから受注が伸び悩み、売上高、セグメント利益ともに前年同期比で減少しました。

- 人材紹介事業：売上高49百万円（前年同期比14.9%増加）、セグメント損失（営業損失）11百万円（前年同期比－）

当中間連結会計期間の人材紹介事業は、成約件数が22件(前年同期20件)となりました。業績については、一部のメーカーで採用を絞る動きもあり引き続き低調に推移しましたが、最悪期は脱しゆるやかな回復傾向を示しております。

- その他：売上高一百万円（前年同期比－）、セグメント損失（営業損失）3百万円（前年同期比－）

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントである車載ソフトウェア開発受託事業で構成されています。当該事業を推進する株式会社マークラインズソフト開発は2025年4月に設立が完了し事業活動を開始しております。これに伴い固定費が発生しセグメント損失を計上しております。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月13日に公表しました2025年12月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,060,545	4,159,138
売掛金	386,217	292,272
商品	89,759	36,290
仕掛品	6,472	1,855
前渡金	14,653	14,220
前払費用	37,349	23,213
その他	67,793	42,030
貸倒引当金	△1,422	△1,497
流動資産合計	6,661,368	4,567,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	773,832	779,109
減価償却累計額	△26,340	△45,988
建物及び構築物(純額)	747,492	733,121
土地	369,801	369,801
その他	148,942	153,533
減価償却累計額	△66,074	△77,443
その他(純額)	82,867	76,090
有形固定資産合計	1,200,161	1,179,012
無形固定資産		
ソフトウェア	75,031	83,575
その他	12,234	7,483
無形固定資産合計	87,265	91,058
投資その他の資産		
投資有価証券	567,243	2,804,899
長期前払費用	885	331
敷金及び保証金	126,596	286,433
長期預金	64,890	60,480
繰延税金資産	45,059	42,025
投資その他の資産合計	804,674	3,194,169
固定資産合計	2,092,101	4,464,241
資産合計	8,753,470	9,031,766

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	113,605	66,428
未払金	23,406	36,445
未払費用	60,226	50,921
未払法人税等	325,338	317,282
未払消費税等	13,289	84,615
前受金	1,527,730	1,656,343
役員賞与引当金	15,000	9,000
預り金	30,949	32,203
賞与引当金	15,755	25,683
その他	35	3
流動負債合計	2,125,337	2,278,926
固定負債		
退職給付に係る負債	11,093	13,700
固定負債合計	11,093	13,700
負債合計	2,136,431	2,292,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	372,711	372,711
資本剰余金	290,518	290,518
利益剰余金	5,853,939	5,970,912
自己株式	△896	△900
株主資本合計	6,516,272	6,633,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,822	9,675
為替換算調整勘定	80,943	53,886
その他の包括利益累計額合計	100,765	63,562
非支配株主持分	-	42,334
純資産合計	6,617,038	6,739,138
負債純資産合計	8,753,470	9,031,766

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,785,538	2,929,549
売上原価	988,262	1,045,846
売上総利益	1,797,275	1,883,702
販売費及び一般管理費		
販売促進費	11,036	13,888
販売手数料	198	187
広告宣伝費	9,314	10,638
役員報酬	35,266	38,327
給料及び手当	329,866	376,389
賞与引当金繰入額	12,978	14,796
退職給付費用	7,397	7,977
法定福利費	58,111	62,794
減価償却費	4,258	10,183
貸倒引当金繰入額	△1,570	74
賃借料	44,317	53,902
その他	172,400	222,585
販売費及び一般管理費合計	683,574	811,746
営業利益	1,113,700	1,071,955
営業外収益		
受取利息	3,989	13,173
受取配当金	4,539	2,625
為替差益	5,346	-
その他	2,692	5,621
営業外収益合計	16,567	21,419
営業外費用		
持分法による投資損失	10,753	10,741
為替差損	-	1,021
その他	85	26
営業外費用合計	10,838	11,789
経常利益	1,119,429	1,081,586
税金等調整前中間純利益	1,119,429	1,081,586
法人税、住民税及び事業税	318,047	324,949
法人税等調整額	13,230	6,469
法人税等合計	331,278	331,419
中間純利益	788,150	750,167
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	-	△1,765
親会社株主に帰属する中間純利益	788,150	751,933

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	788,150	750,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,739	△7,784
為替換算調整勘定	44,462	△27,057
持分法適用会社に対する持分相当額	17,786	△2,361
その他の包括利益合計	71,988	△37,203
中間包括利益	860,139	712,963
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	860,139	714,729
非支配株主に係る中間包括利益	-	△1,765

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	情報プラットフォーム事業	市場予測情報販売事業	プロモーション広告事業	分解調査データ販売事業	車両・部品調達代行事業	コンサルティング事業
売上高						
外部顧客への売上高	1,772,731	157,951	55,278	94,019	234,827	314,140
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,772,731	157,951	55,278	94,019	234,827	314,140
セグメント利益又は損失(△)	886,284	46,931	44,520	38,076	22,602	49,000
	報告セグメント				その他	中間連結損益計算書計上額(注)1
	自動車ファンド事業	車両分解・計測事業	人材紹介事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,492	93,600	43,495	2,785,538	—	2,785,538
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	19,492	93,600	43,495	2,785,538	—	2,785,538
セグメント利益又は損失(△)	930	32,950	△7,598	1,113,700	—	1,113,700

(注) 1. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	情報プラットフォーム事業	市場予測情報販売事業	プロモーション広告事業	分解調査データ販売事業	車両・部品調達代行事業	コンサルティング事業
売上高						
外部顧客への売上高	1,884,407	187,659	68,181	97,787	253,384	305,182
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,884,407	187,659	68,181	97,787	253,384	305,182
セグメント利益又は損失(△)	905,821	59,703	53,876	33,708	24,690	10,472
	報告セグメント				その他(注)1	中間連結損益計算書計上額(注)2
	自動車ファンド事業	車両分解・計測事業	人材紹介事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,438	63,552	49,955	2,929,549	—	2,929,549
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	19,438	63,552	49,955	2,929,549	—	2,929,549
セグメント利益又は損失(△)	8,868	△9,912	△11,810	1,075,419	△3,463	1,071,955

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメント含まれない事業であり、車載ソフトウェア開発受託事業であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

前第3四半期連結会計期間に完成したベンチマークセンターの稼働に伴い、各報告セグメントの業績をより適切に評価するため、前第3四半期連結会計期間より全社費用の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更を行っております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の測定方法に基づき作成しております。